

日時:2015 年 12 月 21 日(月) 15:00 - 17:00

(14 時~15 時は「フクダ電子ビューワと織田デジタル化試行用産業向けツールとの連携」打合わせ)

場所:フクダ電子会議室 + Web 会議

出席者:藤井田 (ISOLA)、鈴木淳夫(司会)、喜多(HISPLO)、佐藤(フクダ)、織田(福岡産業)、森口 記  
大林(メタキューブ Web)、毛利(岡山淳風会 Web)、細羽(京都医療大 Web)、(順不同敬称略)

資料:下記に関連部分のみ詳細

- ① 資料 1: 健診依頼フロー他 (健診依頼フォルダ内: 毛利・村山)
- ② 資料 2: 副作用報告 3-r3.pmda (森口 PDMA 資料を引用した EDI 事例の参考資料)
- ③ 資料 3: IHMS 委員会の成果物(案)「統合健康管理システムの統合プロフィール」(大林: 決議した最終版)
- ④ 資料 4: 健康診断の流れ
- ⑤ 資料 5: 織田資料 csv 比較健診データ mactable21-20150607

■議事

1. 議事(以下、鈴木司会)

前回議事録の確認をしつつ、前回に続きIHMS委員会の「健診統合プロフィール」のアウトプットについて議論した。

(0) 14 時~15 時:「フクダ電子ビューワと織田試行用産業向けツールとの連携」打ち合わせ

佐藤の説明で、織田が了解。フクダ電子ビューワと織田試行用産業向けツールが連携できることを確認。

織田は、織田ツールがストレスチェック機能も追加していることを説明。

(1)「健診統合プロフィール」のアウトプットについて

- a. 企業側から送付する、「(1) 健診仕様の送信」「(2) 健診オーダーの送信」については、具体的な中味の提案があった(村山・毛利が主担当、資料 1 を毛利が説明)

[今回の対象は早期に成果を見られるようにするため、あくまで一般定期健診のみであることを留意]  
(全員了承)

- b. PDMA 資料を引用した EDI 事例の参考資料を紹介(森口)

資料 2 の手法・ツールが医療機関間 EDI ツールの事例であることを説明

前回議事録の下記部分を参照

---

セキュアデータの交換に関する技術面の紹介

「付録B」として副作用情報では PMDA が下記 3 項目を検討している。

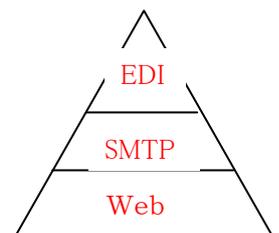
運用ルールや証明書の検討が必要。(参考資料とする?)

案 1: e-commerce (EDI)

案 2: SMTP

案 3: Web

---



- c. 「統合健康管理システムの統合プロフィール」の目次部分について検討  
分担を含めて決議 資料3 参照  
目次上、ネットワーク(XDS?)前提でのアウトプットである。(全員合意)

**(2) 次回会議での目次部分についての残課題(書記のメモ)**

- ①  今回のデジタル化試行実際はオフラインベースでの連携であることで、その部分を目次的にどのようなように表現するか？
- ②  精度管理上の下記の取り決めを「参考扱い」で付録とするか？
- 各施設は一つの上下限值を持つ。
  - 報告データは個人ごとに健診結果の上下限値のテーブルを持つ
  - CDA 上では毎回、上下限值を持つよう設計。(大林)
  - JLAC10 のコードは企業・健診機関ごとで1種に決め打ちとして一つの上下限值を持つ。
  - 異常値の判定はこのテーブルにより行う
- ③ 画像及び波形情報に関する判定(当面、文字情報でコード化しない)を「付録」として記述するか？
- ④ 「情報交換における個人情報保護・情報セキュリティの規程や契約に関するガイドライン」を「付録」として本報告書に記載するか？

**2. PHR 協会からの連絡事項**

次回 PHR 協会講演会を 2 月 13 日 TEPIA で行うことになった。

**3. 次回 IHMS 委員会の予定**

2016 年1月20 日 15時～17時 (フクダ電子会議室) に設定された。

—以上—